

オンライン  
企業研修

よろこびがつなぐ世界へ



キリンホールディングス

愛知県立佐屋高等学校 科学部



愛知県立佐屋高等学校科学部のみなさん

2022年2月4日(金)、愛知県立佐屋高等学校の生徒10名がオンラインで企業環境研修に参加し、企業の環境保全などの取組を学びました。

## 豊かな地球を次世代につなぐポジティブなインパクト

### 企業研修のテーマ

キリングループは、2020年2月に2050年を目標とする「キリングループ環境ビジョン2050」を公表しました。目指すのは、ネガティブなインパクトを最小化してニュートラルにするだけでなく、自社の枠組みを超えて社会にポジティブなインパクトを与えることです。バリューチェーンすべてを対象として、これからの世代を担う若者を始めとした社会とともに、こころ豊かな地球を次世代につないでいきます。



講師) キリンホールディングス 藤原啓一郎さん

【今回の研修】では、「持続可能な生物資源の利用」をテーマに企業の取組を学びました。

### 事例① スリランカ紅茶農園へのレインフォレスト・アライアンス認証取得支援



紅茶農園が認証を取得する支援を行う

認証茶葉を調達するのではなく、生産地全体を持続可能にする。

農園の認証取得支援を選択

#### レインフォレスト・アライアンス認証取得支援の仕組み



### 事例② 日本ワインのためのブドウ畑生態系調査

#### 椀子ヴィンヤード生態系調査

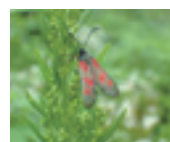
遊休荒廃地を椀子ヴィンヤードに転換する生態系への影響を、2014年から農研機構との共同研究で調査を開始



遊休荒廃地を日本ワインのためのブドウ畑に転換していくことは、生態系に悪影響を与えないのか

農研機構の調査の結果、椀子ヴィンヤードが希少種を含む多様な生態系を持つことが判明。草生栽培と適切な下草管理を行っている草生栽培のブドウ畑が、広大で良質な草原を構成

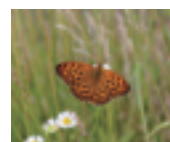
#### 生態系調査で見つかった希少種を含む多様な生きもの



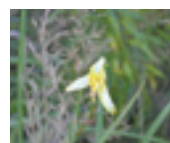
ベニモンマダラ



クララ



ウラギンスジヒョウモン



ユウスゲ



メハジキ



スズサイコ

### <愛知県立佐屋高等学校> 研修後、参加高校生の感想(抜粋)



<参加高校生>

中島冬陽さん、佐野雅典さん、藤田隼人さん、赤波江諒也さん、佐藤結衣さん、佐藤綾花さん、宮本彩名さん、有賀 楓さん、佐藤大聖さん、宮崎大輝さん

- キリンホールディングス様の発表を楽しみにしていました。企業としての環境保全活動は、意外に知らないことが多いので、とても勉強になりました。企業が考えるビジネスモデルとしての環境保全活動は、学校で学ぶ私たちも取り組むべき内容が多いと思いました。
- 科学部では、野外活動、調査データのまとめや発表など様々な体験をしてきました。大学に進学したら、生物資源と資源循環について学びます。今回教えていただきましたSDGsへの取組や、生態系に配慮した活動はとても参考になりました。
- 1つの目標に向かって、国が、世界が声を上げ、協力して目標を達成しようとしている。そこに大人も子どもも関係ない。その先陣を切っているのが企業の方々であることを、今回知りました。
- 環境を守るという行為は、世界の誰か、かけがえのない命を救うということを自覚しました。今後も科学部では活動を通して生物多様性を考え、たとえ小さな環境問題であっても解決できるように頑張っていきたいです。

キリンホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。

